

1 市民の安心、安全と福祉の充実

- (1) 10月5日、台風18号は市内各地で床上・床下浸水、道路冠水等被害をもたらした。被害の状況と今後の対策について伺う。
 - ① 中泉地域の被害状況と今後の対策について伺う。
 - ② 久保川治水プロジェクト事業の進捗状況と今後の見通し、中泉地域の被害にどのように対応できるか伺う。
 - ③ 磐田山梨線やひょうたん池周辺の道路が冠水している。安久路調整池の状況と今後の対策について伺う。
- (2) 9月に市内の病院が突然休止した。病院を利用していた患者の方々は突然の休止に驚き、その後の対応に苦慮されたとのことである。
 - ① 休止した病院の情報を把握していたのか伺う。
 - ② こうした事態に対する対応について伺う。
- (3) 平成26年4月から消費税率が8%へ引き上げられたことにより、所得の低い方々への影響や子育て世帯への消費の下支えを図る観点から、暫定的・臨時的な取り扱いとして、臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金が支給されている。受付期間は終了しているが、申請されていない市民もあると新聞報道もされている。
 - ① 給付金についての評価を伺う。
 - ② これまでの支給の現状と課題について伺う。
- (4) 病後で回復期にある子どもを就労等やむを得ない状況の場合に預かる「病後児保育」の利用状況と課題について伺う。

2 新駅設置とまちづくり、合併10周年記念事業

- (1) 日本共産党磐田市委員会が、JR新駅設置と周辺整備についてのアンケートを行った。新駅づくりの財源についてのアンケート項目では、「JRにも、応分の負担を求めるべきである」との意見が多数寄せられた。
 - ① こうした市民の意見に対する市長の見解を伺う。
 - ② JRにも、応分の負担を求めるべきであると考えているが、納得のいく回答がない。法的根拠があるのか、市民にもわかるように説明されたい。
 - ③ 新駅周辺の町づくりについては、「駅を中心としたバス路線の整備」、「兎山児童館の再建」、「高齢者施設」、「駅前交番」、「市の出張所」などの要望が寄せられている。こうした住民の声をいかした町づくりを進めるべきだと考えているが見解を伺う。
 - ④ 台風18号により鎌田地域の道路が冠水している。駅周辺のまちづくりとして水害に強いまちをどのようにつくるのか見解を伺う。
- (2) 今年、合併10周年を迎えた自治体では、合併を市民とともに祝い、融和と一体感をより深めるとともに、さらなる飛躍を目指して、さまざまな記念事業を実施している。
 - ① 来年、合併10周年を迎える磐田市が計画している記念事業と予算について伺う。
 - ② 磐田市合併10周年冠事業を募集しているが、その目的と現在までの応募状況を伺う。
 - ③ 市民が主体的に提案し、自らが実施する合併10周年にふさわしい事業に対して補助を行う「市民提案事業」についての考えがあるのか伺う。

3 教育、文化行政について

- (1) 今年6月に教育委員会制度を定める法律が改悪された。法改正により、①首長任命の新教育長、②首長の教育大綱制定権、③総合教育会議の3つの新しい仕組みが加えられた。しかし、教育委員会制度は残されているので、教育委員の役割と責任は今まで以上に重要だと考える。
- ① 首長の関与が強められ教育への政治的介入が危惧されるが、法改正に対する教育長の見解を伺う。
- ② 教育大綱は、教育委員会と首長とが対等平等の関係で共同し、広範な住民の参画のもとで策定すべきものとする。教育長の見解を伺う。
- ③ 法改正にあわせて、教育委員会に関する条例や規則の改正が必要になると考える。今後の取り組みについて伺う。
- (2) 磐田市掛塚を代表する旧家津倉家の土地と建物等が寄附された。報道によれば「個人住宅として有数な広さを誇り、掛塚を代表する廻船問屋。昭和初期の洋館付き住宅の様式が分かる資料」とのことである。今後、寄附をされた方の意向に沿って、市民の財産として生かしていくべきであるとする。寄附された建物等の内容と文化的価値、今後の活用策について見解を伺う。